

臨床研究「アンピシリン感受性 *Enterococcus faecium* 菌血症の臨床的特徴」について

筑波大学附属病院病院総合内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

Enterococcus faecium は、*E. faecalis* と並び、臨床現場で比較的良好に見られる腸球菌の一種です。尿路感染症や腹腔内感染症などの起病菌になることがあります。しかしながら、稀にアンピシリン感受性 *E. faecium* が臨床検体から分離されることがあり、そういった株に関するデータは殆ど報告されていません。実際にアンピシリン感受性 *E. faecium* 感染症に対してアンピシリンを用いることの妥当性やアンピシリン耐性株との背景因子の差異を、検査データや診療記録を用いて検証することが本研究の目的です。

② 研究対象者

2016年1月1日から2021年12月31日までに当院で *E. faecium* 菌血症と診断された患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2023年3月31日まで

④ 研究の方法

2016年1月～2021年12月に、当院で *E. faecium* 菌血症と診断された患者さんの検査データや診療記録から個人情報を除いて病歴・画像所見等の情報を収集し、アンピシリン感受性 *E. faecium* 菌血症群とアンピシリン耐性 *E. faecium* 菌血症群にグループ分けした上で、それぞれの特徴を比較検討します。

⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

診療記録から年齢、性別、基礎疾患、使用薬剤、身体所見、検査所見、画像所見、転帰などの情報を収集します。

⑥ 試料・情報の第三者への提供について（該当する場合は記載）

第三者への情報提供はありません。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学 医学医療系 病院総合内科、救急・集中治療科 講師 下條 信威

⑧ 研究機関名および研究責任者名

筑波大学 医学医療系 病院総合内科、救急・集中治療科 講師 下條 信威

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：病院総合内科 伊東 完

E-mail： ito.hiroshi.ox@md.tsukuba.ac.jp（平日9～17時）